

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	EX668／演習 (Seminar)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	ディベートで学ぶビジネスと法		
担当者名 (Instructor)	藤澤 治奈(FUJISAWA HARUNA)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	LPX4910	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	その他登録		

授業の目標(Course Objectives)

- ① ディベートを通してよりよい法, 制度, そして社会の在り方について構想する思考力を養う
- ② ビジネスと法に関連する最新の知識を得る

- (1) To cultivate the ability to think critically in conceiving better laws, systems, and the ideal state of society through debate
- (2) To acquire the latest knowledge concerning business and law

授業の内容(Course Contents)

この授業では、ビジネスと法に関連するテーマを取り上げ、それについてディベートを行います。テーマは、履修者の関心に合ったものを選びますが、担当教員が専攻する民法だけではなく、多岐にわたる可能性があります。履修者は、自らがディベートを行う回はもちろん、それ以外の回にも、ジャッジとして授業に参加します。そのため、授業の予習のために、グループで集まったり、資料を集めたり、多くの時間を必要とします。また、ディベートを通じて他大学と交流することも予定しています。そこで、この演習のために、十分な時間を割くことのできる履修者を募集しています。

なお、履修希望者を対象として、面接を行います。面接を希望する方は、6月8日までに申込みを行ってください。面接の申込は、メールで受け付けています(fujisawa@rikkyo.ac.jp)。

This class will raise topics concerning business and law and engage in debates about these topics. The topics will be selected according to the interests of the students, but they may be wide-ranging and include not only Civil Law, which is the instructor's specialization. During some sessions, students will hold debates on their own and at other times participate in class as judges. Therefore, students will need a significant amount of time to gather in groups, collect documents, etc. to prepare for class. In addition, students are also scheduled to participate in exchanges with other universities through debates. Therefore, this seminar is open to students who are able to devote a sufficient amount of time.

Furthermore, please note that students who wish to take this seminar will be interviewed. If you wish to be interviewed, please apply by June 8th. Interview applications are being accepted by email (fujisawa@rikkyo.ac.jp).

授業計画(Course Schedule)

1. ガイダンス
2. ディベートの準備
3. ディベート(1班 vs. 2班)
4. ディベート(3班 vs. 4班)
5. ディベート(3班 vs. 1班)
6. ディベート(2班 vs. 4班)
7. ディベート(4班 vs. 1班)
8. ディベート(2班 vs. 3班)
9. ディベート(優勝決定戦)
10. 他大学との交流会準備(1)
11. 他大学との交流会準備(2)
12. 他大学との交流会総括
13. ディベートのまとめ(1)
14. ディベートのまとめ(2)

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

授業の予習として、①ディベートの準備のために、グループで集まり、資料の収集および検討を行うこと、②ディベートのジャッジのために、指定された資料および自ら集めた資料に目を通すことが必要とされます。また、講義で未履修のテーマに取り組む場合には、各自、教科書などを読み、基本的な知識を身につけることが必要です。

成績評価方法・基準(Evaluation)

ディベートの内容(50%)/ジャッジとしての発言内容(50%)

テキスト(Textbooks)

授業中に適宜指定します。

参考文献(Readings)

授業中に適宜指定します。

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

<選考方法>

採用人数:20

配当年次:2~4年次

選考方法:レポートおよび面接

①題目:ディベートしてみたいテーマ(それについて自分がどのような意見を持っているか)

②字数:1000字

演習論文:実施しない

<授業形態>

ディベートを行う演習であり、グループワークがあります。

<フィードバック>

毎回の授業の最後に、担当教員からディベートの内容について講評を行います。

注意事項(Notice)